

加工・業務用野菜生産者取組状況一覧(令和4年度調査)

青森1 おとべ農産合同会社

主たる事務所の住所 青森県上北郡東北町字乙部道ノ上24-2

担当者名 乙部 暁 電話番号 0175-63-4313

FAX 0175-63-4313 E-mail otbex0625@gmail.com

全作付面積(令和3(2021)年) 28ha

主な施設・機械 トラクター、だいこんハーベスター、キャベツハーベスター、冷蔵施設 他

主な出荷品目(令和3(2021)年)

品目名	キャベツ	だいこん	ながいも
年間出荷量(t)	560	500	250
主な収穫時期	7~10月中旬	6~10月	4月、11月
主な取引先	JAゆうき青森	JAゆうき青森	(株)クロスエイジ



アピール ポイント

気候の変化に対応していくために毎年、新品種の試験を行っています。
ながいもではGLOBALG.A.P.を取得しています。化成肥料だけに頼らず、
緑肥や堆肥を中心に土づくりを心がけて栽培しています。

今後、取り組み たいこと

加工・業務用向けのだいこん・キャベツの品種選定(歩留まりや冷蔵庫内
での棚持ち等)の情報を収集しています。
機械化を進め、栽培面積の拡大を目指しています。

加工・業務用野菜生産者取組状況一覧(令和4年度調査)

青森2 ゆうき青森農業協同組合

主たる事務所の住所 青森県上北郡東北町字素柄邸82番地3

ホームページURL <https://www.ja-yuukiaomori.or.jp>

担当者名 販売戦略課 沼山 電話番号 0175-72-1417

FAX 0175-72-1422 E-mail n-tomoya1061@ja-yuukiaomori.or.jp

全作付面積(令和3(2021)年) 1,284.4ha(畑作のみ、水稻を除く)

主な施設・機械 収穫機、定植機、鉄コンテナ

主な出荷品目(令和3(2021)年)

品目名	キャベツ
年間出荷量(t)	1,983
主な収穫時期	7～10月中旬
主な取引先	—



アピール ポイント

地域の基幹作物(ながいも、にんにく、ごぼう)との輪作体系と選別の簡素化による労働力軽減を目的に鉄コンテナで出荷できる加工・業務キャベツの栽培に取り組んでいます。機械収穫にも対応できるよう玉が倒伏(傾き)しにくく、コンパクトに仕上がるような品種の選定や栽培技術の向上に努めています。

加工・業務用野菜生産者取組状況一覧(令和4年度調査)

青森3 有限会社藤谷園芸

主たる事務所の住所 青森県上北郡六ヶ所村大字倉内字道ノ下1-2

ホームページURL —

担当者名 藤谷 建 電話番号 0175-75-2040

FAX 0175-75-2733 E-mail sp5s57c9@swan.ocn.ne.jp

全作付面積(令和3(2021)年) 16ha(キャベツ10ha、レタス4ha、たまねぎ2ha)

主な施設・機械 冷蔵庫、トラクター、ビニールハウス

主な出荷品目(令和3(2021)年)			
品目名	キャベツ	レタス	たまねぎ
年間出荷量(t)	450	33	9
主な収穫時期	7~12月	7~10月	6~8月
主な取引先	デリカフーズHD(株)、 (株)すかいらくHD、 (株)木村食品工業	デリカフーズHD(株)、 (株)すかいらくHD、 (株)木村食品工業	(株)木村食品工 業、その他



アピール ポイント

連続5期目となるGLOBALG.A.P.認証の取得は、付加価値としてではなく、コストをかけて外部の基準を入れることによって作業内容をデータ化、ルーティン化する気負わないイノベーションとして活用しています。

キャベツ、レタス、はくさい等を中心とした生産体系ですが、新たな輪作作物としてねぎ、たまねぎ、にんじん、だいこんを取り入れ、それらの作物の生産効率を上げるための機械化に取り組んでいます。

加工・業務用、量販店用は主力商品となっており、40店舗の産直販売は少量多品種を目指すことにより、生産物の全量販売ができる仕組みを構築中です。

今後、取り組み たいこと

有限資源であるNPK肥料の削減対策として、動物由来の鶏糞、豚糞、牛糞で加里、リン酸を確保し、植物由来のライ麦で有機物、ヘアリーベッチ(緑肥)で窒素を最大限に利用する栽培体系の構築を考えています。

今、注目のバイオステミュラント(Bio stimulants(生物刺激剤))活用による作物のストレスのない健全なる生育環境の構築を考えています。

新たな作物の一貫体制を構築するため各作目ごとの1,000万円の資金の調達方法を模索しています。

加工・業務用野菜生産者取組状況(令和5年度調査)

青森 4 株式会社グリーンソウル

主たる事務所の住所 青森県十和田市大字米田字万内265-2

ホームページURL <http://greensoul.co.jp>

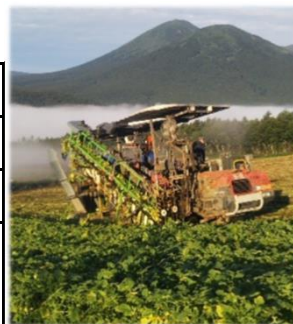
担当者名 代表取締役 米田 拓実 電話番号 0176-28-2570

FAX 0176-28-2570 E-mail qqvg7wa9k@cronos.ocn.ne.jp

全作付面積(令和4(2022)年) 120ha

主な施設・機械 トラクター、だいこんハーベスター、ドローン、その他収穫機、野菜洗淨施設、野菜冷蔵貯蔵庫、野菜加工施設、蒸気加熱・急速凍結装置

主な出荷品目(令和4(2022)年)			
品目名	だいこん	ながいも	ごぼう
年間出荷量(t)	1,200	400	500
主な収穫時期	7月～10月	1月～4月	11月～12月
主な取引先	J A 十和田おいらせ 県内青果市場	加工会社	県内青果市場 食品加工会社



アピール ポイント

露地野菜の大規模栽培を実現するため、作業の機械化、スマート農業機械を積極的に導入し、作業効率化と適期作業による高品質な栽培を心掛けております。毎年、全圃場の土壌分析を実施し結果を基に、適正な施肥を実施し、良質な土づくりも実践しております。

今後、取り組み たいこと

大規模栽培のスケールメリットを生かし加工・業務用契約の割合を増やし経営の安定化に取り組んでおります。また、青森県産野菜等を活用した冷凍食品の開発・販売を目指しています。

加工・業務用野菜生産者取組状況一覧(令和4年度調査)

岩手1 農事組合法人いさわ南部

主たる事務所の住所 岩手県奥州市胆沢小山字小田切533-4

ホームページURL m.facebook.com/isawanambu/

担当者名 菅原 陽児 電話番号 0197-41-5700

FAX 0197-41-5700 E-mail isawa-nambu@mopera.net

全作付面積(令和3(2021)年) 16.1ha

主な施設・機械 ポテトプランター、ポテトハーベスター、いさわ南部ライスセンター
施設 他

主な出荷品目(令和3(2021)年)

品目名	ばれいしょ
年間出荷量(t)	2,431
主な収穫時期	7～8月
主な取引先	カルビーポテト(株)



アピール ポイント

土作りと減化学肥料を目的とし、ライスセンターで排出されたモミガラに地元畜産農家の堆肥を利用した完熟堆肥を散布しています。水田利用のため、作付け前には明渠、サブソイラー、弾丸暗渠を実施し、連作障害回避のため、収穫後にはほ場の水張りを実施しています。

隣接する農事組合法人やグループへ各種作業を委託し、産直にて規格外の販売を行い、なるべく捨てるものを少なくしています。

今後、取り組み たいこと

栽培面積拡大と処理能力向上に向け、各種機械の更新及び新規購入を考えています。令和5年度には、新しい機械の導入を予定しています。

加工・業務用野菜生産者取組状況一覧(令和4年度調査)

岩手2 農事組合法人中沢農産

主たる事務所の住所 岩手県八幡平市野駄1-319-1

ホームページURL -

担当者名 高橋 金悦 電話番号 0195-78-3588

FAX 0195-78-3588 E-mail nakazawa-nousan@etude.ocn.ne.jp

全作付面積(令和3(2021)年) 101ha

主な施設・機械 トラクター、コンバイン、田植機、乗用管理機、加工用トマト収穫機、リフト、プレハブ冷凍庫、にんにく乾燥機 他

主な出荷品目(令和3(2021)年)	
品目名	トマト
年間出荷量(t)	94
主な収穫時期	8月
主な取引先	日本デルモンテ(株)



アピール ポイント

近年は専用の収穫機等を導入し、にんにくや加工用トマトなどの畑作物を入れていきます。

今後、取り組み たいこと

機械化による管理、作業効率の向上をさらに進めていきたい。

加工・業務用野菜生産者取組状況一覧(令和4年度調査)

岩手3 農事組合法人リアル

主たる事務所の住所 岩手県花巻市太田第13地割111番地

ホームページURL —

担当者名 新淵 伸彦 電話番号 0198-28-3157

FAX 0198-28-3157 E-mail niibuchi1023@gmail.com

全作付面積(令和3(2021)年) 100ha

主な施設・機械 乾燥調製施設倉庫、水稻・小麦・雑穀・大豆・たまねぎ用機械一式

主な出荷品目(令和3(2021)年)	
品目名	たまねぎ
年間出荷量(t)	77
主な収穫時期	7月下旬～9月
主な取引先	昭産商事(株)



アピール ポイント

機械化一貫体系で春植たまねぎを栽培しています。みどりの食料システム戦略を意識し、高品質の堆肥散布した減化学肥料栽培、有機農業に取り組んでいます。

今後、取り組み たいこと

圃場を管理するシステムを導入し、腐敗低減を目指したい。

加工・業務用野菜生産者取組状況(令和5年度調査)

岩手4 新岩手農業協同組合二戸地域野菜生産部会奥中山支部レタス専門部

主たる事務所の住所 岩手県岩手郡岩手町大字御堂第3地割112-3

担当者名 佐藤 太気 電話番号 0195-35-3224

FAX 0195-35-3615 E-mail jn_taiki@jasi.or.jp

全作付面積(令和4(2022)年) 221.6ha (レタス・非結球類の作付面積)

主な施設・機械 ※レタス専門部として所有する施設・機械はない

主な出荷品目(令和4(2022)年)	
品目名	レタス
年間出荷量(t)	821
主な収穫時期	6月～10月
主な取引先	新岩手農業協同組合



アピール ポイント

若手レタス生産者講習会を年4回開催し、専門部の役員を講師に技術の向上を図っています。GLOBALG.A.P.の取得者が令和5年度までにレタスで6名となっています。相手先からの要望に応じて今後も取得拡大に向けて取り組んでいます。

毎年、土壌診断を行っています。その診断結果から、レタスが最も成長しやすい品種を選定しています。

今後、取り組み たいこと

機械化を進め栽培面積の拡大を目指しています。

加工・業務用野菜生産者取組状況一覧(令和4年度調査)

宮城1 加美よつば農業協同組合

主たる事務所の住所 宮城県加美郡加美町字矢越220番地

ホームページURL <https://www.ja-kami.or.jp/>

担当者名 高橋 大樹 電話番号 0229-63-3761

FAX 0229-63-3768 E-mail engei@ja-kami.or.jp

全作付面積(令和3(2021)年) 35.3ha(加工・業務用野菜のみ)

主な施設・機械 野菜集出荷所、予冷库、保冷库、冷蔵庫、真空予冷機 他

主な出荷品目(令和3(2021)年)

品目名	キャベツ	はくさい	トマト
年間出荷量(t)	547	456	117
主な収穫時期	夏穫り6月下旬～ 7月末、秋穫り10 月下旬～12月上旬	10～3月	7月下旬～ 9月上旬
主な取引先	カット野菜業者等	漬物業者等	トマト加工業者等



アピール ポイント

管内で製造している「エコ堆くん」(発酵堆肥)を使用して土づくりに取り組んでいます。出荷については、プラスチックコンテナ等による通いコンテナを使用して省力化に取り組んでいます。また、当組合には、農業倉庫を改良した大型の冷蔵庫を所有しており、品質の維持・長期出荷の対応をしています。

今後、取り組み たいこと

GAP認証の取得により、販路及び作付面積の拡大を図っていきます。

加工・業務用野菜生産者取組状況(令和5年度調査)

宮城2 新みやぎ農業協同組合美里ぽてと部会

主たる事務所の住所 宮城県遠田郡美里町木間塚字砂押55番地の1

対応部署 南郷営農センター 電話番号 0229-58-0556

FAX 0229-58-0777 E-mail s01488@ja-shnmiyagi.or.jp

全作付面積(令和4(2022)年) 17ha(加工・業務用野菜のみ)

主な施設・機械 選別場、ポテトハーベスター、チョッパー、カッティングプランター

主な出荷品目(令和4(2022)年)	
品目名	ばれいしょ
年間出荷量(t)	53
主な収穫時期	7月下旬～8月下旬
主な取引先	カルビーポテト(株)



アピール ポイント

栽培にあたり、連作障害対策として、他品目との輪作を行い、土壌バランスの偏りを防ぎ、排水対策として額縁明渠やサブソイラーを使用し、土質改善に努めています。

また、カルビーポテト株式会社と連携し、土壌分析による適切な施肥設計と、栽培試験により、地域に適した品種の選定と、生産量の安定化に努めています。

今後、取り組み たいこと

栽培面積の拡大を目指し、生産管理システムを利用した圃場管理の効率化と、化学肥料の低減による生産コストの低減の取組を検討しています。

加工・業務用野菜生産者取組状況一覧(令和4年度調査)

宮城3 農事組合法人おおしお北部

主たる事務所の住所 宮城県東松島市大塩字三ツ谷66

ホームページURL —

担当者名 大崎 康 電話番号 0225-98-8251

FAX 0225-98-8252 E-mail ooshiohokubu@mx31.tiki.ne.jp

全作付面積(令和3(2021)年) 107ha(二毛作を含めると179ha)

主な施設・機械 トラクター、ポテトplanター、汎用コンバイン、ポテトハーベスター、ブームスプレーヤ 他

主な出荷品目(令和3(2021)年)

品目名	ばれいしょ
年間出荷量(t)	610
主な収穫時期	7～8月
主な取引先	カルビーポテト(株)



アピール ポイント

高騰している化学肥料の使用を減らすため、耕畜連携で契約している畜産農家さんの良質な堆肥の使用を増やして、病害虫に強いばれいしょ作りを目指しています。

今後、取り組み たいこと

大区画への整備を進め、機械の効率利用を図ると共に、精度の高い作業をするため自動操舵システム等の活用と併せて構成員のスキルアップを図りたいと考えています。

加工・業務用野菜生産者取組状況一覧(令和4年度調査)

宮城4 有限会社氏家農場

主たる事務所の住所 宮城県遠田郡涌谷町字小谷地450-1

ホームページURL <https://www.ujiie-farm.com/>

担当者名 代表取締役 氏家 靖裕 電話番号 0229-29-9623

FAX 0229-29-9624 E-mail info@ujiie-farm.com

全作付面積(令和3(2021)年) 22.9ha

主な施設・機械 カット工場、パイプハウス

主な出荷品目(令和3(2021)年)

品目名	小ねぎ	青ねぎ	白ねぎ
年間出荷量(t)	152	115	17
主な収穫時期	周年	周年	周年
主な取引先	(株)アースコーポレーション、 (株)三和食品	(株)アースコーポレーション、 (株)三和食品	自社加工



アピール ポイント

氏家農場では土づくりを大切に1年を通して安定した品質のねぎを生産しています。出荷調整時に毎日大量に出るねぎの残渣と、近隣の地域資源を活用した堆肥作りも行っています。出来上がった堆肥は肥料として圃場へ還元し、資源を循環させる「循環型農業」にも取り組んでいます。

また、平成23年にJGAP、平成29年にはASIAGAPの認証を取得し、食品安全はもちろんのこと、労働安全・人権・福祉・環境保全などにも取り組んでいます。

生産したねぎは自社カット工場で鮮度が良いうちのカットして、スーパー、飲食店などで販売しています。

今後、取り組み たいこと

作付圃場が多くなったことから圃場情報を管理するシステムの導入を検討しています。また、生産効率向上に向けた人材教育と機械化一貫体系の確立を進めていきたいと考えています。

減化学肥料、減農薬の栽培に興味があり情報収集をしています。

加工・業務用野菜生産者取組状況(令和5年度調査)

宮城5 株式会社みちさき

主たる事務所の住所 宮城県仙台市宮城野区蒲生細川65

ホームページURL <http://michisaki.com/>

担当者名 代表取締役 菊地 守 電話番号 022-354-0418

FAX 022-354-0419 E-mail michisaki2012@gmail.com

全作付面積(令和4(2022)年) 2.1ha

主な施設・機械 フェンロー型ハウス、ハイワイヤー方式の高床ベンチ、連棟型ハウス、環境制御システム、温湯ボイラー、チラー、温風ボイラー 他

主な出荷品目(令和4(2022)年)

品目名	トマト	ルッコラ	ほうれんそう
年間出荷量(t)	420	42	40
主な収穫時期	9月～7月	周年	周年
主な取引先	(株)サイゼリヤ	(株)サイゼリヤ、 (株)舞台ファーム	(株)舞台ファーム



アピール ポイント

トマトは販売先の要望に応じ、多収性に優れた外国品種を採用しています。種苗メーカーと情報交換する機会を頻繁に設け、新品種の試験を行い、よりよい品種を見つける努力をしています。

2018年から継続して認証を取得しているGLOBALG.A.P.は、コンサル会社に頼らず自社フォーマットを使用し、毎年担当を変え、社員教育の一環として活用しています。

今後、取り組み たいこと

圃場内の移動が多いため、配送用ロボット等を活用したい。

トマトハウスの増設を行い、栽培面積の拡大を検討しています。

加工・業務用野菜生産者取組状況(令和5年度調査)

宮城6 株式会社舞台ファーム「美里グリーンベース」

主たる事務所の住所 宮城県遠田郡美里町中坪新上戸東地内

ホームページURL <https://butaifarm.com/>

担当者名 専務取締役 伊藤 啓一 電話番号 022-289-6768

FAX 022-289-6243 E-mail info@butaifarm.com

全作付面積(令和4(2022)年) 4.5ha (生産面積)

主な施設・機械 自動水耕栽培施設、灌水システム、環境制御装置、LED補光 他

主な出荷品目(令和4(2022)年)

品目名	レタス
年間出荷量(t)	46.4 (※令和4年3月の福島県沖及び宮城県沖地震被害等による収量減)
主な収穫時期	通年
主な取引先	(株)セブン-イレブン・ジャパンほか



アピールポイント

日本最大級のレタスの植物工場となります。播種～栽培を全て全自動で実施しています。1日最大で3～4万株(8トン)の生産が可能です。

LED併用型となっており、どんな気象でも安定的に生産することができます。従業員は周辺からの雇用であり、地域農業を支えていくフラグシップとなっています。

今後、取り組みたいこと

DX化を推進しています。温度、日射量など全てをデータ管理しており、野菜の生育に合わせた対応を行っています。

Chat GPTを最大限活用し、出荷の際の検品を自動化するなど、若手を中心に生産性の飛躍的向上を図っております。

加工・業務用野菜生産者取組状況一覧(令和4年度調査)

秋田1 株式会社おがフロンティアファーム

主たる事務所の住所 秋田県南秋田郡大潟村西野22-6

ホームページURL -

担当者名 宮川 正和 電話番号 0185-46-4040

FAX 0185-46-4040 E-mail syohati@if-n.ne.jp

全作付面積(令和3(2021)年) 15ha

主な施設・機械 全自動ねぎ収穫機(ソフィ)、トラクター、ブームスプレーヤー 他

主な出荷品目(令和3(2021)年)

品目名	ねぎ
年間出荷量(t)	320
主な収穫時期	8~12月
主な取引先	JA、加工業者



アピール ポイント

根葉切り、皮むきの調整設備を改良しながら、作業の効率化を追求しています。

額縁明渠等での排水対策、防除、除草の初期対応に注意しています。

JGAP認証を取得し、農場管理に努めています。

今後、取り組み たいこと

反収の向上、安定化のために、定植時期を前倒しして、堆肥散布、労務管理による作業人員の適期確保等に対処していきたい。

加工・業務用野菜生産者取組状況一覧(令和4年度調査)

秋田2 全農秋田県本部

主たる事務所の住所 秋田県秋田市八橋南二丁目10-16

ホームページURL <https://www.zennoh.or.jp/ak/>

担当者名 全農あきた 園芸課 電話番号 018-864-2491

FAX 018-864-2516 E-mail -

全作付面積(令和3(2021)年) 3,434ha

主な施設・機械 キャベツ収穫機 他

主な出荷品目(令和3(2021)年)		
品目名	キャベツ	ねぎ
年間出荷量(t)	2,010	845
主な収穫時期	9~12月	8~12月
主な取引先	全農青果センター	全農青果センター



アピール ポイント

JAあきた白神において、園芸メガ団地による大規模生産と機械収穫+鉄コンテナ出荷により作業効率の向上、資材コストの削減に取り組んでいます。

今後、取り組み たいこと

実需からも要望の強い、減化学農薬+減化学肥料の取組について、現在、小規模で取り組んでいますが、生産圃場を精査し拡大に力を入れています。

加工・業務用野菜生産者取組状況一覧(令和4年度調査)

秋田3 農事組合法人たねっこ

主たる事務所の住所 秋田県大仙市協和小種字鏡台109-1

ホームページURL http://www17.plala.or.jp/tanekko_hp/

担当者名 工藤 浩一 電話番号 018-896-2210

FAX 018-896-2790 E-mail tanekko@cap.ocn.ne.jp

全作付面積(令和3(2021)年) 290ha

主な施設・機械 急速冷凍一式、独自検査室

主な出荷品目(令和3(2021)年)

品目名	ねぎ	たまねぎ	ばれいしょ
年間出荷量(t)	23.6	20.3	13.6
主な収穫時期	8~11月	7~8月	8月
主な取引先	学校給食、JA	学校給食	学校給食



アピール ポイント

法人設立以来、露地野菜の生産を行っていましたが冬期間の雇用場を確保し、周年営業を目的として冷凍野菜の加工部門を平成25年に立ち上げました。法人生産野菜の約90%を急速冷凍し、地域の学校給食を主とし、食品会社、介護施設等に出荷しています。収穫後-40℃で急速冷凍した生産物は、品質、食味に評価を得ており、独自の検査体制を整え、県認証HACCPも取得しています。

今後、取り組み たいこと

お客様のニーズをよりの確にとらえ、安全、安心は元よりロットの確保に努め、スマート農業を活用した作業効率・生産性の向上を図り、持続可能な農業(経営)の確立を目指しています。

加工・業務用野菜生産者取組状況(令和5年度調査)

秋田4 株式会社しらかみファーマーズ

主たる事務所の住所 秋田県北秋田市米内沢字長野岱102番地25

ホームページURL <https://shirakami-farmers.jp/>

担当者名 代表取締役 小林 郷司 電話番号 0186-84-8316

FAX 0186-48-8326 E-mail info@shirakami-farmers.jp

全作付面積(令和4(2022)年) 22ha (にんにく18ha、だいこん4ha)

主な施設・機械
にんにく：乾燥施設、黒にんにく製造施設、植付機、収穫機 等
だいこん：漬物・燻製施設、播種機、収穫機 等

主な出荷品目(令和4(2022)年)		
品目名	にんにく	だいこん
年間出荷量(t)	25	100
主な収穫時期	6月下旬～7月上旬	10～12月
主な取引先	県内各スーパー、秋田市中心卸市場、 県内道の駅 等	



アピール ポイント

当社は北秋田市の建設業3社が共同出資し、平成23年3月に設立しました。当社は、地域の遊休農地を借り入れ、建設業の強みを生かして農地を復旧し、地域産業と連携して地元堆肥やミネラル豊富な十和田石粒を畑にすき込むなど、こだわりの土づくりを実践しています。また、市場価格に左右されない経営を目指し、「黒にんにく」や「いぶりだいこん」等の製造、販売に取り組んでいます。

今後、取り組み たいこと

「黒にんにく」や「いぶりだいこん」の販売チャンネルの拡大に取り組むとともに、にんにくやだいこんと繁忙期が重ならない新たな品目への取り組みを目指しています。

加工・業務用野菜生産者取組状況一覧(令和4年度調査)

山形1 農事組合法人成田農産

主たる事務所の住所 山形県長井市成田1473番地

ホームページURL -

担当者名 代表理事 飯澤 和郎 電話番号 0238-88-5701

FAX 0238-88-5701 E-mail narita.seisan@gmail.com

全作付面積(令和3(2021)年) 102ha

主な施設・機械 トラクター、田植機、コンバイン、大豆コンバイン、乾燥調製施設、ラジコンヘリコプター、ドローン 他

主な出荷品目(令和3(2021)年)	
品目名	トマト
年間出荷量(t)	70.7
主な収穫時期	8月
主な取引先	カゴメ(株)



アピール ポイント

通常のトマトと加工用トマトは栽培方法が異なりますが、カゴメ(株)から技術指導や収穫体制の支援などを受け、今以上の栽培技術の向上を意識して生産しています。また、契約栽培を行っているため、安定した所得を得ることができています。

加工・業務用野菜生産者取組状況一覧(令和4年度調査)

山形2 山形おきたま農業協同組合

主たる事務所の住所 山形県東置賜郡川西町大字上小松978-1

ホームページURL <https://www.okitama-yt-ja.or.jp/>

担当者名 営農経済部園芸販売課 小形 繁 電話番号 0238-46-5302

FAX 0238-46-5312 E-mail -

全作付面積(令和3(2021)年) 250ha(野菜品目計)

主な施設・機械 アスパラガス選果場、えだまめ選果場、広域集出荷施設(マルチ選果機)

主な出荷品目(令和3(2021)年)			
品目名	キャベツ	きゅうり	えだまめ
年間出荷量(t)	550	85	30
主な収穫時期	10~11月	6~10月	9月中下旬
主な取引先	地元、関東方面食品製造業者(餃子・カット野菜)	地元漬物業者	関東方面食品製造業者(冷凍枝豆)



アピールポイント

結球が硬く、カット加工時の歩留まりが良い寒玉形品種を中心に栽培しています。コストを削減するため、農家自らが育苗も行い、鉄力ゴにて出荷を行っています。全農県本部と連携し販売することで、県内他産地との出荷調整が可能となり、欠品予防等の安定供給対策をとっています。

今後、取り組みたいこと

生産・出荷に掛かるコストが増大していることから、対応した販売単価の確保はもちろんですが、コストを可能な限り低減していく必要があると考えています。このため、省力・減農薬の作型や、より低コストな出荷体系等の検討を行っていききたい。

加工・業務用野菜生産者取組状況一覧(令和4年度調査)

福島1 株式会社なかた農園

主たる事務所の住所	福島県郡山市富久山町福原字福原42		
ホームページURL	https://nakata-farm.co.jp/		
担当者名	中田	電話番号	024-938-5303
FAX	024-938-5303	E-mail	nakata.farm@kbh.biglobe.ne.jp
全作付面積(令和3(2021)年)	35ha(水稲23ha、ねぎ12ha)		
主な施設・機械	ねぎ収穫機、選別機、乾燥調製施設		

主な出荷品目(令和3(2021)年)		
品目名	青ねぎ	白ねぎ
年間出荷量(t)	140	51
主な収穫時期	4月中旬～1月中旬	4月中旬～5月下旬
主な取引先	(株)トリドールHD 他	(有)ダイチ 他



アピール ポイント

郡山市が位置する福島県中通りは水田単作地帯ですが、比較的温暖で昼夜の温度差があり野菜作りに適している土地柄です。弊社では水稲も作付けしている傍らで耕畜連携を結び、稲わらを畜産のエサに提供する代わりに良質な牛糞堆肥を受け取り使用しています。作物を作るには「苗半作」と言われます。弊社では「苗づくり」には特にこだわっています。自家配合のねぎ培土を使用することにより、育苗培土のコストを1/4まで下げ、肥培管理はもちろん発根の根毛まで大切に育てています。結果として、減農薬で作ることができています。

今後、取り組み たいこと

今後はJGAP認証の取得を検討しています。現時点では中通りで生産していますが、今後は浜通りにも圃場を拡大し、3年後には年間800t(青ねぎ、白ねぎ含む)を出荷していきたいと考えています。遠隔での通農となるため、GPSや圃場カメラ、ICT、自動運転、ドローンなど先進技術を導入し、20年後にはパソコン上でできる農業を夢見しています。また、弊社は「お客様の求める商品を作る」ことを哲学として現在はねぎを作付けしていますが、ねぎ以外の野菜を作ることも可能です。その一環でブロッコリーの作付けをしようかと考えています。

加工・業務用野菜生産者取組状況一覧(令和4年度調査)

福島2 株式会社吉野家ファーム福島

主たる事務所の住所 福島県白河市表郷金山字竹ノ内35

ホームページURL —

担当者名 専務取締役・農場長 滝田 国男 電話番号 0248-33-1510

FAX 0248-33-1510 E-mail k.takita@yoshinoya-farm.com

全作付面積(令和3(2021)年) 10.4ha

主な施設・機械 自動操舵トラクタ、乗用野菜定植機、ドローン、ICT付キャベツ収穫機、リモコン草刈機、播種機

主な出荷品目(令和3(2021)年)			
品目名	はくさい	白ねぎ	青ねぎ
年間出荷量(t)	98	32	24
主な収穫時期	6月、11月	11～12月	7～11月
主な取引先	吉野家HD	吉野家HD	吉野家HD



アピール ポイント

平成30年にJGAP、令和2年にはふくしま県GAP(FGAP)の認証を受け、安全・安心な作物栽培を心がけています。SDGsにも取り組み、生分解マルチを使用したり、硫黄コーティング肥料や減農薬に組み込み、環境にやさしい農業を目指しています。

今後、取り組み たいこと

雇用型の農業者として、作業の効率化向上を第一に捉えています。そのための機械の導入や人体の負荷軽減策を積極的に取り入れ、農業が持つグレーなイメージを改善していきたい。

加工・業務用野菜生産者取組状況一覧(令和4年度調査)

福島3 福島さくら農業協同組合

主たる事務所の住所 福島県田村市船引町船引字南町通160(たむら統括センター)

ホームページURL <http://www.ja-fsakura.or.jp>

担当者名 佐藤 耕司 電話番号 0247-82-6172

FAX 0247-82-6174 E-mail t-einou@ja-fsakura.or.jp

全作付面積(令和3(2021)年) 79.9ha(野菜品目計)

主な施設・機械 ほうれんそう収穫機

主な出荷品目(令和3(2021)年)

品目名	トマト	ほうれんそう
年間出荷量(t)	30.5	8.1
主な収穫時期	7月下旬～9月上旬	6月上旬、11月上旬
主な取引先	カゴメ(株)	(公財)福島県学校給食会



アピール ポイント

減化学農薬・減化学肥料に取り組み、安全・安心な農産物を生産しています。

今後、取り組み たいこと

年々反収が減少しているので、加工向けに適した品種の選定に取り組みたい。

加工・業務用野菜生産者取組状況(令和5年度調査)

福島4 有限会社御光福園芸

主たる事務所の住所 福島県石川郡石川町大字新屋敷字鳥内20

ホームページURL <https://gokoufukuengei.com/>

担当者名 吉田 隆 電話番号 0247-26-0183

FAX 0247-26-0185 E-mail info@gokoufukuengei.com

全作付面積(令和4(2022)年) 9ha(作付延べ面積:こまつな8.8ha、いちご0.2ha)

主な施設・機械 パイプハウス、トラクター、野菜自動包装機、環境制御装置(いちご)

主な出荷品目(令和4(2022)年)

品目名	こまつな	いちご
年間出荷量(t)	6	0.3
主な収穫時期	周年	4～6月上旬
主な取引先	あさかのFresh(株)、 (株)サトー商会	あさかのFresh(株)、 (有)よしだや



アピール ポイント

ハウス側面に防虫ネットを展開し、できる限り物理的に虫の侵入を防ぎ、減農薬栽培に取り組んでいます。こまつなの茎の間に土が入らないように、丁寧に手作業で収穫し、手で拭いて仕上げを行って、目視で異物混入をチェックする等、数量よりも品質に重きを置いて生産しています。

今後、取り組み たいこと

肥料・農薬・燃料資材等の価格高騰に伴う生産コストの増加や作業従事者の高齢化への対策として、新規作業従事者の確保や作業の効率化やシステム化による作業負担の軽減に取り組んでいきたい。また、収益性の高い品目栽培への新規取組等も進めて行きたい。

加工・業務用野菜生産者取組状況(令和5年度調査)

福島5 株式会社OFs-Link

主たる事務所の住所 福島県田村郡三春町大字貝山字佐藤六107

担当者名 代表取締役 大内 俊昌 電話番号 0247-62-4641

FAX 0247-62-4641 E-mail shunsuke87677122@yahoo.co.jp

全作付面積(令和4(2022)年)きゅうり1.5ha、トマト30a、かぶ20a、ねぎ40a、メロン10a

主な施設・機械 ビニールハウス70a

主な出荷品目(令和4(2022)年)	
品目名	きゅうり
年間出荷量(t)	50
主な収穫時期	3月～12月
主な取引先	(株)つくば良農



アピール ポイント

気候変動の影響や、病気などにより出荷量が減少しても安定して出荷できるように、各作型をさらに分割して作付けを行っております。JGAPを取得しており安全安心なきゅうりを安定的に供給いたします。

今後、取り組み たいこと

露地キュウリの栽培面積を拡大し加工業務用に出荷できるよう情報を収集しています。